

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後デイサービス あかねクラブ		R8年3月18日					
	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	・活動内容に応じてレイアウトの変更等を行い過密にならないように動きやすい環境の保持に努めている。 ・利用定員数に対して、個別活動・集団活動双方に対応できるスペースを工夫している。	・クールダウンスペースがさらに増やせると何人もパニックになった時に対応できて良い。×2 ・導線（部屋の入口等）が少し狭い	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	・子供一人ひとりの状態に合わせて配置している。 ・個別支援をよとする場合等、職員間で情報共有し、状況の変化に対応できるよう連携を図っている。	・おおむね適切ではあるが、全体を見る職員が常にいるとなお良い。 ・日によっては足りていない日もある×2	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	・生活しやすいように日々話し合いをしている。 ・運動器具の収納方法を写真で提示し、子供たちが片付けやすいようにしている。	・今後は個々の特性に寄り添った構造化支援にも力を入れていきたい。 ・新しく来た子にもわかりやすい視覚支援が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・床は全面マット化して、運動の際に危険がないよう配慮している。 ・毎日清掃し清潔を保っている。窓が大きく換気も定期的に行っている。	・清掃が行き届いている箇所とそうでない箇所があるので徹底していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	・プレイルーム脇にあるカーテンで仕切られた運動器具の収納スペース等を上手に活用している。 ・感覚的な過敏の特性などに合わせて、空間を区切ったり、別室等で心地よく過ごせるように工夫して支援を行っている。	・できればパーテーションを新しくした方がいいと思います。 ・一人で落ち着かせる場所が少ない×2（どうして職員が一人つかなければ対応できない場所が1つある為）	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1	・常時全員が参加できてはいませんが、最終的には実施している。	・子供の関する振り返りは多く行っているが、全体の業務改善に関するPDCAサイクルに関しては今後の課題である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・保護者向け評価やアンケートを通じて、ご意向やご意見を把握する機会を設けて、その内容を職員間で共有し業務改善に活かしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・日常的に意見交換を行える環境作りを大切にし、支援の方向性について認識や理解を深めていく事で業務内容の改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3		・第三者による外部評価の受審には至っていないが、その必要性を大いに感じており、今後より良い支援の為に検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・定期的に全員が研修を受けたり、個人が各々参加している。 ・職員の経験年数や役割に応じた研修の機会を確保し、資格の取得に繋げている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	・職員全体で話し合い支援プログラムを作成、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	・面談や日々の観察を通じてアセスメントを行い、子供と保護者の皆様の意向を踏まえながら適切な個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	・日々の支援の様子や職員の気付きを全職員が共有して連携し、子供にとって最善の支援内容を検討している。 ・アセスメント、モニタリング評価等を通じての現状を職員間で共有し、成長に応じた支援を調整していく等検討を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	・支援内容は共有可能なファイルに管理をし、日々の支援の共通理解のもとに具体的に実践していけるように意見交換等で支援向上を図っている。	・常勤スタッフには共有されているが、非常勤スタッフにも共有の機会があると良い。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		・職員間での情報共有を中心としたインフォーマルなアセスメントによる評価を行っているが、標準化されたツールによるフォーマルなアセスメントについては不十分な為、今後導入の検討を行ってきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	・運動を中心とした支援を主軸とした支援目標を展開し、その内容を実践していく事で、5領域に紐づいた発達の成長を実感できるように支援内容を工夫し提供している。	・「移行支援」「地域支援・地域連携」の機会が少ない為、今後機会を模索していきたい。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみて良かった事、上手くいかなかった事を共有し次回に活かしている。 ・意見を出し合いながら活動プログラムを立案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで話し合いができる時とできない時にバラつきがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・同じスポーツでも練習内容を変化させて、子供が飽きないように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ体の使い方を理解しきれていない子どもも多いので、体幹を鍛えるような基礎的な運動を中心にした方がいいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特性や状況に合わせ、個別と集団を無理なく組み合わせ支援を行っている。利用者に応じて、活動の配合や形態を調整し参加を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に長期休みは利用時間が長いので、個別の活動の過ごし方が難しい。切り替えがしやすい工夫が必要。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の話し合いで明日の予定を決めてそれぞれの役割について確認をしている。 ・就業時間の配慮をしながら支援前後の打ち合わせや情報共有を通じて職員間の連携を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務体系の異なる職員には予め出勤前に伝達できる手段があると良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後などに、活動全体を振り返り職員間での気付きや配慮を要する点などについて意見交換し共有している。 ・送迎時等で収集した情報など共有できる様、簡易記録などで対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みやイベントの振り返りをきちんと行う機会を設けて欲しい。 ・勤務形態の異なる職員とはできていない日もあるため今後改善が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での申し送りなども参考にし、業務日誌等でも課題記録を行っている。また、活動内容についても連絡帳含め記載し、支援の検討に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポットで入るスタッフにも子供の情報を共有して欲しいです。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づき、定期モニタリングを実施。また、ご家族の見学等を促し、その際に情報共有、支援内容、ご意向、目標などを調整している。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を中心とした活動を展開し、その中で日常生活に役立つ訓練（姿勢保持、体幹強化等）を実施している。また、地域交流として他施設との交流を設けたり、市外出活動も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動においては比重が少ない為、今後活動展開を検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の促し、選択肢を与える等しながらなるべく子供に多く決めてもらうようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃなどは各自で遊べるようになってくるが、スポーツという活動の中では全体で動く事が多い為、今後考えていく必要がある。 ・より一人ひとりの状況に応じた自己決定の機会を増やしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・該当児童の特性や支援状況を理解している職員がサービス担当者会議等に参加し、連携している。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者経由での情報取得が中心である。必要に応じて、直接連携の支援体制も整えていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に予定表、年間スケジュール等を提出していただいた上で、事業所の予定を組んでいる。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・主に利用者のご家族を通しての情報共有に努めている。また、担当相談支援員からの情報共有も受けて支援に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような機会はなかなか取れずにいるのが現状。前向きな施設があれば検討したい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報、就労情報等は保護者または学校関係機関等を通して情報共有し、支援内容の経過などを提供している。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	3		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて職員研修など計画的に実施し、助言等いただき事業所全体の支援向上に努めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の施設との定期的な交流を計画し、実施している。今後も継続的に行う事で関わりを広げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館との交流を行う事ができたが、内容や進め方などは今後の課題である。 ・今後こういった機会をさらに設けられると良いと思う。×4
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、子ども部会を中心に自立支援協議会への参加を行っている。引き続き積極的に参加をし、事業所内でその内容を共有していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会等への参加の機会が限られている為、今後は情報収集や関係機関との連携を強化したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎等の機会を大切にその日の様子などを伝えてどうしていくか一緒に考えている。 ・連絡帳、送迎時等にて日々の活動状況や利用者の様子等を報告し、支援の方向性の理解と共有を図っている。 	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	5	<ul style="list-style-type: none"> ・家族向けの研修等には至っていないが、個々の保護者の相談に応じて関係機関の情報提供や対応策について話し合い家族に寄り添う支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お薦めしたい講演会等がある時に保護者の方へお知らせしたい。 ・家族に対するペアレントトレーニング等の機会は確保できていないので今後の課題である。 	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	・利用開始時に書面を利用してご家族にご理解いただける様に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	・モニタリングや活動見学では、時間をかけご意向を伺う事に努め、利用者の最善の利益を優先する視点でご意向をベースに支援内容を検討している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	・よりわかりやすい説明を心がけ、支援内容や目標についての詳細を現況と将来の展望を織り交ぜてしっかりと提示し、ご同意いただけるよう努めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1	・必要な時に速やかに連絡、相談できる関係を結ぶ事を心がけている。安心して連携していける相談体制を築いていきたい。	・その都度、話は聞いているが子育ての悩みを話し合う場などを作れるとさらに良いと思う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	5	・行事等を通じて保護者同士が自然な形で交流できる機会を設けている。また、保護者以外のご家族についても参加を促している。	・土曜日に子供を別室や外で預かりながら保護者会を開けるといいと思う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	・状況の説明と今後の改善点をご説明している。 ・苦情と相談があった際には、管理者や職員で共有し迅速な対応を心がけている。また、日頃より相談しやすい関係作りを目指している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	2	・活動概要や行事予定に関しては、事前に書面にて、また必要に応じて連絡帳、電話、メール、口頭での情報発信に努めている。わかりやすい発信の方法を今後も工夫していく。	・HPの更新は特にないと思う。行事ごとにきちんとお手紙を出しているのはいいと思う。 ・SNSなどの運用はほとんどできていないので、保護者の皆様の同意を得られた際には時代に合ったツールに移行していけると良い。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	・送迎表等を持ち出す際は特に注意を払い、万が一紛失をしたとしても名前等の情報がわからないようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	・利用者の特性や理解力、また背景にある環境に応じて、支援が画一的にならない様、工夫して行っている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	・地域連合会への参加等は行っている。地域住民との積極的な交流の場を設ける等、今後調整していきたい。	・地域との交流はこれからの課題である。 ・安全面の確保の問題から行えてはいない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	・基本的な対応について、職員間での研修やマニュアル理解を通じて共有している。今後、ご家族への十分な周知を実施していきたい。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	・BCPの内容や役割等について職員全体で研修を行い、共通理解を深めている。また、避難訓練で様々な災害を想定し、安全確保についての取り組みを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	・利用開始時、日々の連絡を通して体調や服薬状況についての情報共有を行っている。また、職員間での共有も心がけている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	・アレルギーに関してはご家庭からの情報を共有している。 ・保護者からの情報提供を中心にアレルギーについては情報のアップデートを図り、それを職員間で共有し対応している。	・アレルギーについてはご家庭と情報共有しているが医療機関との連携については今後の課題である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	・職員間の連携を深め、安全管理を意識した支援を心がけている。今後、安全計画の内容について研修等を行うなど支援に反映していきたい。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	・利用者の安全確保を最優先とし、ご家族との連携を常に図れるよう伝達手段や家庭環境の把握に努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	・職員間での振り返りや支援会議の中で、事例に至った経緯や原因、再発防止に向けた検討を必須として取り組んでいる。また、記録により継続的に事例検討していける体制作りを整えていきたい。	・たまに働く人間にも伝わるようにして欲しい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	・研修を実施し、職員全体で意識の共有を行い日常の支援の中で具体的な対応などについて話し合う機会をもっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	・保護者への事前説明を通して、組織としての明確な基準などについて丁寧に話し、ご同意いただいている。		